

令和4年度 年間自己評価 総括表

中期重点目標	本年度目標	具体的方策	年間評価
【確かな学力の育成】 あかるく生き生きと学ぶ子 考える力、表現する力、学びに向かう力の育成	国語・算数の単元末テストで80点以上をとる児童を80%以上にする。	・授業における学習課題や指導法を工夫し、児童の学習意欲や「わかった・できた」という達成感を高める。 ・反復練習による、基礎基本の定着を図る。	B
	授業で、話し合いなどに進んで参加している児童を90%以上にする。	・自分の考えをまとめる時間を確保し、話し方・聞き方のモデルを示すことで、自信をもって話したり、聞いたりできるようにする。 ・単元や1時間の授業の中で対話的な言語活動の場を設定し、互いの考えを共有できるよう工夫する。	A
	読書に進んで取り組む児童を90%以上にする。	・いつでも読書に親しめるように、教室環境を整えたり、時間を確保したりする。 ・町図書や巡回図書などを活用し、多くのジャンルの本にふれる機会を増やす。 ・月1回「読書の日」を設けたり、親子読書を推進したりするなどの工夫をする。	B
【望ましい集団の育成】 あたたかくつながり合う子 様々な人と協調・協働できる力の育成	自分にはよいところがあると思う児童を80%以上にする。	・学校行事や日頃の活動に、ポジティブ教育を積極的に取り入れる。 ・「ポジティブ教育週間」を設け、自分のよいところを考えたり、友達に伝えたりする活動を行う。	A
	みんなで何かをするのは楽しいと感じる児童を90%以上にする。	・仲間とのあたたかいつながりを感じられるように、学校行事や縦割り班活動「わくわくタイム」を充実させる。 ・学級や学年、縦割り班活動で、児童が主体となり、意欲的に取り組める活動を行う。	A
【健やかな心身の育成】 あくまでがんばる強い心と体を持つ子 心と体の健康を考えて生活する力の育成	正しい姿勢を意識できた児童を90%以上にする。	・全校の児童が、正しい姿勢を意識できるような取り組みになるように工夫する。 ・ICT機器を使って、自分の姿勢を客観的に見直す機会を設ける。	A
	自分の健康を意識して生活ができた児童を90%以上にする。	・正しい知識を身につけることで、病気の予防に努める意識を高める。 ・各学年や個人の体力状況に応じて、楽しい運動ができるように工夫する。	A
【業務改善】 健康でいきいきと勤務ができ、教育の質を高められる環境づくり	時間外在校等時間月80時間以上の教員をゼロにする。	・教科担任制を推進し、教材研究及び授業準備の負担軽減と効率化を図る。 ・各教職員の時間外勤務の状況を早めに把握し、必要に応じて面談を行い、長時間勤務にならないように助言したり、環境を整えたりする。	A